

県内において、メールで感染するウイルス『Emotet（エモテット）』による被害が発生！

- 感染端末の利用者になりすました偽のウイルス付メールが数百通送信
- 知人や取引先からのメールでも、ウイルス感染に注意が必要

■被害状況

県内の事業所で、メール等によって感染を拡大するウイルス「Emotet」の被害が発生しました。

ウイルスに感染した端末に登録されていたメールアドレス宛に多数のウイルス付メールが送信されているほか、感染被害を受けた事業所も県内の別事業所から届いたメールを通じて感染した可能性が高く、県内でウイルスの感染被害が拡大しているおそれがあります。

～ウイルス『Emotet』～

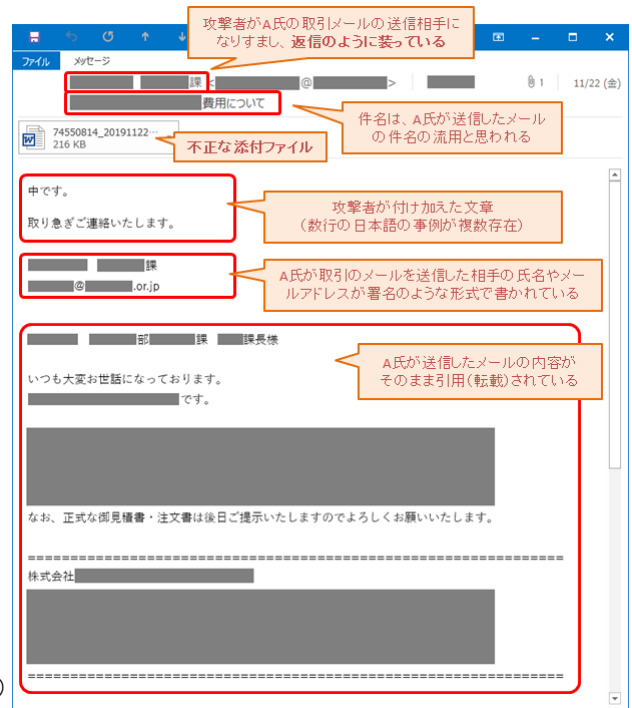
主にメールに添付されたWord形式のファイルを開くことなどで感染します。

感染すると、感染端末から連絡先情報などが盗み取られ、その連絡先に対してウイルスが添付された攻撃メールが送信されるため、感染が更に拡大します。

攻撃メールは、過去のメールが引用されるなど不審なメールか否か簡単に見分けがつかないこともあります。知人からのメールでも、慎重な対応が必要です。



メールの例(図:独立行政法人情報処理推進機構)



■対策

～平素からの対策～

- ウイルス対策ソフト、OSを最新の状態に保つ
- WordやExcelなどのマクロを「無効」に設定する

～メールが着信したとき～

- メールを送信元アドレス・内容をよく確認する
- メールを送信元に電話等で確認し、偽のメールでないか確認する
- 添付ファイルやメール内のリンク先を不用意に開かない

～ウイルス感染が疑われる場合～

- 感染端末をネットワークから隔離する
- 感染端末で利用していたパスワードを全て変更する
- 過去にメールをやり取りした相手に注意を呼び掛ける